



きね川日記

2020. 6. 10
6月号



きね川福祉作業所内の日々の出来事を毎月お伝えします。



身近な癒しを探してみませんか？

年度末からのコロナ騒動で、落ち着かない日々が続いていますね。幸いなことに現在まで利用者さんと身の回りの方々、職員やその家族には感染者が出ていません。4月の登所自粛のお願いへのご協力、そして現在の時差登所へのご理解とご協力に感謝いたします。きね川の利用者さんですが、この2カ月あまりで、登所時や休憩時の手洗いが非常に丁寧で上手になりました。又、毎日2度行っている検温ですが、職員が声掛けをする前に利用者さんから検温を求める声がある様になり、皆さんの意識が変わってきた様に感じます。



写真は作業所の敷地の植物の一部です。咲いているのを利用者さんが見かけて「きれいだよ」教えてくれました。その利用者さんが教えてくれた白い総包に包まれた花を咲かせたどくだみは、地中に根を張り巡らせ、公園清掃の草取りでは強敵ですが、可憐な花は心に潤いを与えるのですね。毒下しの薬効が顕著で古来から漢方で利用されています。又、ベトナムでは日本の種とは違うようですが、その香りが好まれて魚料理等に使われていると聞いています。園庭の紫陽花は、梅雨間際の蒸し暑さを一時忘れさせてくれる爽やかさを感じます。気温が上がり、マスクが辛い季節になりましたが、皆さんも身近な癒しを探してみてください。

(稲留)

